

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年12月18日

出願番号

Application Number:

特願2000-383857

出願人

Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社



RECEIVED

MAR 16 2001

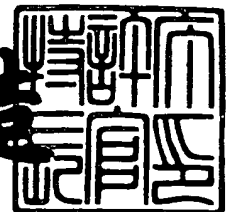
Technology Center 2000

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3112153

【書類名】 特許願

【整理番号】 P25820J

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 3/12

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 加賀谷 淳

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000- 2608

【出願日】 平成12年 1月11日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 プリントシステム
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字および／または該簡易画像を表す文字画像情報を生成する文字画像情報生成手段を有するクライアントと、

画像データをプリント出力する際に、前記クライアントから提供される前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字する情報印字手段を有するラボサーバとを備えたことを特徴とするプリントシステム。

【請求項 2】 前記文字画像情報生成手段は、前記文字画像情報を前記画像データのプリント注文内容を表す注文情報に記述する手段であり、

前記情報印字手段は、該注文情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像を前記プリントの所定位置に印字する手段であることを特徴とする請求項 1 記載のプリントシステム。

【請求項 3】 前記プリント注文内容が一つの前記画像データを複数枚プリント出力するものである場合、前記文字画像情報生成手段は、前記文字画像情報を前記プリント毎に設定可能な手段であり、

前記情報印字手段は、前記プリント毎に設定された文字画像情報により表される文字および／または簡易画像を、該各プリントの所定位置に印字する手段であることを特徴とする請求項 2 記載のプリントシステム。

【請求項 4】 前記プリント注文内容が複数の前記画像データをプリント出力するものである場合、前記文字画像情報生成手段は、全てのプリントについて一つの前記文字画像情報を設定可能な手段であり、

前記情報印字手段は、前記設定された文字画像情報により表される文字および／または簡易画像を、該各プリントの所定位置に印字する手段であることを特徴とする請求項 2 記載のプリントシステム。

【請求項 5】 前記クライアントおよび前記ラボサーバは、予め定められた文字および／または簡易画像と、該文字および／または該簡易画像の種類を表

すコード情報とを対応付けたテーブルを記憶した記憶手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載のプリントシステム。

【請求項 6】 前記クライアントと前記ラボサーバとが、ネットワークを介して接続されてなることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載のプリントシステム。

【請求項 7】 所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字を表す文字画像情報を生成し、

画像データをプリント出力する際に、前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字することを特徴とするプリント注文方法。

【請求項 8】 前記文字画像情報が、前記画像データのプリント注文内容を表す注文情報に記述されてなることを特徴とする請求項 7 記載のプリント注文方法。

【請求項 9】 前記プリント注文内容が一つの前記画像データを複数枚プリント出力するものである場合、前記文字画像情報が前記プリント毎に設定されてなることを特徴とする請求項 8 記載のプリント注文方法。

【請求項 10】 前記プリント注文内容が複数の前記画像データをプリント出力するものである場合、全てのプリントについて一つの前記文字画像情報が設定されてなることを特徴とする請求項 8 記載のプリント注文方法。

【請求項 11】 前記所望とする文字および／または前記簡易画像が、予め定められた文字および／または簡易画像の種類を表すコード情報として入力されることを特徴とする請求項 7 から 10 のいずれか 1 項記載のプリント注文方法。

【請求項 12】 請求項 7 から 11 のいずれか 1 項記載のプリント注文方法に使用するプリント注文装置であって、

所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字および／または該簡易画像を表す文字画像情報を生成する文字画像情報生成手段を備えたことを特徴とするプリント注文装置。

【請求項 13】 請求項 7 から 11 のいずれか 1 項記載のプリント注文方

法に使用するプリント装置であって、

画像データをプリント出力する際に、前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字する情報印字手段を備えたことを特徴とするプリント装置。

【請求項 1 4】 請求項 7 記載のプリント注文方法に使用するプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、前記所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字および／または該簡易画像を表す文字画像情報を生成する手順を有することを特徴とするコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 1 5】 請求項 7 記載のプリント注文方法に使用するプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、画像データをプリント出力する際に、前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字する手順を有することを特徴とするコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像データをプリントするプリントシステムに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

ユーザが撮影した写真画像をデジタル化して画像サーバに蓄積したり、C D - R に記録してユーザに提供したり、写真の焼き増し注文に応じる等、写真に関する種々のデジタルフォトサービスを行うデジタルフォトサービスシステムが知られている。このようなシステムにおいて、ユーザはC D - R に記録された画像から画像を再現するための専用ビューワーソフトをパソコンにインストールして画像を再生し、焼き増し注文を行う場合には、ビューワーソフトに組み込まれた注文機能を用いて注文内容を記述した注文情報を作成する。そして、ユーザはこの注文情報とC D - R とを写真店に持参し、写真店においては注文情報とC D - R とをラボに受け渡して、注文された写真画像を作成することとなる。

【 0 0 0 3 】

また、このデジタルフォトサービスシステムの一形態として、ユーザのデジタル画像をサービス提供者のシステムに保管（登録）しておき、インターネット等のネットワークを介してプリント注文等を受け付けるネットワークフォトサービスシステムも提案されている。

【 0 0 0 4 】

このようなネットワークフォトサービスシステムにおいては、デジタルフォトサービスをユーザに提供するに当り、大手集配ラボにスキャナ、プリンタ、大容量ディスクを有するサーバコンピュータ（以下、「画像サーバ」という）を設置して、ユーザが撮影した写真を画像サーバに蓄積し、ユーザがその画像サーバにネットワークを介してアクセスできるようにすることによって、写真の焼き増し注文、電子メールへの写真画像添付、写真画像データのダウンロード等の各種サービスを提供することが考えられている。このようなサービスにおいて、ユーザはパソコンにおいて所定のアプリケーションソフトを用いて画像サーバにアクセスし、上述した写真の焼き増し注文等を行うことができる。一方、ラボにおいては、ユーザからの注文情報に基づいて、焼き増しプリント、写真入りポストカードの作成、アルバムの作成、画像の合成、トリミング等の写真処理を画像データに対して施し、処理が施されたデータをユーザに転送したり、処理が終了した旨を電子メールでユーザに知らせる等の処置を採ることができる。

【 0 0 0 5 】

ここで「注文情報」とは、具体的にはサービス内容（焼き増し、ポストカード作成等）を指定する処理番号、写真を指定する画像番号、プリントサイズ、プリント枚数、プリント面質（光沢あり、光沢なし）、紙厚、写真処理の内容、トリミングの指定情報等のことである。

【 0 0 0 6 】

一方、A P S（Advanced Photo System）では、写真の撮影時に撮影年月日などの撮影情報をフィルムに磁気記録し、フィルムを読み取ってデジタル画像データを得る際に、磁気記録された撮影情報を画像データにタグ情報として付与することが行われている。また、デジタルカメラの場合にも、撮影により取得した画

像データをカメラのメモリに記憶する際に、撮影情報をその画像データに付与して記録することが行われている。このように画像データに付与された撮影情報は、例えば写真プリントの裏面に印字されて写真の整理や注文に利用されている。また、このような撮影情報を写真プリントに印字する際に、印字位置やフォントなどの印字形式を指定して、撮影情報を写真プリントに印字する方法が提案されている（特開平 1 0 - 1 9 1 0 2 1 号）。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した特開平 1 0 - 1 9 1 0 2 1 号に記載された方法においては、撮影時に画像データに付与された撮影情報のみを印字するものであり、ユーザが所望とする文字を印字することができなかった。

【 0 0 0 8 】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、ユーザが所望とする文字さらには所望とする画像を印字できるプリントシステムを提供することを目的とするものである。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本発明によるプリントシステムは、所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字を表す文字画像情報を生成する文字画像情報生成手段を有するクライアントと、

画像データをプリント出力する際に、前記クライアントから提供される前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字する情報印字手段を有するラボサーバとを備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 0 】

ここで、「所望とする文字」とは、ユーザが画像データのプリント出力をラボサーバに依頼する際に、プリントに印字したい文字のことであり、単一の文字であっても文字列であってもよい。具体的には画像データにより表される画像に対するコメントや、画像の印象、メッセージ、プリントを渡す人の名前等が挙げら

れる。

【 0 0 1 1 】

「所望とする簡易画像」とは、ユーザが画像データのプリント出力をラボサーバに依頼する際に、プリントに印字したい画像のことであり、モノクロの画像、輪郭のみからなる画像等、文字と同様に比較的簡易に印字可能な画像のことをいう。具体的には、簡易な模様、ユーザの似顔絵、あるいはユーザを識別するためのマーク等が挙げられる。

【 0 0 1 2 】

なお、「文字画像情報を提供する」とは、文字画像情報をネットワークを介してラボサーバに提供するものであってもよく、これをFD、CD-R等の記録媒体に記録してラボサーバに持ち込んで提供するものであってもよい。

【 0 0 1 3 】

ここで、クライアントがプリント出力する画像データを有する場合には、文字画像情報は画像データに付与されて提供される。なお、画像データに文字画像情報を付与するとは、画像データと文字画像情報とが不可分の関係になっていればよく、具体的には文字画像情報が所望とする文字を表すものである場合、画像データのタグ情報として文字画像情報を付与すること、文字画像情報をテキストデータとして画像データと一体化すること、プリント内容を記述した注文情報に文字画像情報を含ませること等をいう。また、文字画像情報が所望とする簡易画像を表すものである場合、文字画像情報をビットマップデータとして画像データと一体化すること、一体化するとともに注文情報にビットマップデータを識別する情報を含ませること等をいう。

【 0 0 1 4 】

一方、ラボサーバがプリントする画像データを有する場合、あるいはクライアント以外のデータベース等に画像データが保管されている場合には、クライアントは文字画像情報のみをラボサーバに提供する。

【 0 0 1 5 】

また、「所定位置に印字する」とは、プリントの画像が形成される部分、裏面、あるいは白縁を付してプリントを行う場合には白縁に文字および／または簡易

画像を印字することをいうが、画像が形成される部分に印字すると文字が見にくくなるとともに、文字および／または簡易画像により画像が欠落する部分が生じる。このため、本発明においては、プリントの裏面あるいは白縁部分に文字および／または簡易画像を印字することが好ましい。

【 0 0 1 6 】

なお、本発明によるプリントシステムにおいては、前記文字画像情報生成手段は、前記文字画像情報を前記画像データのプリント注文内容を表す注文情報に記述する手段であり、

前記情報印字手段は、該注文情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像を前記プリントの所定位置に印字する手段であることが好ましい。

【 0 0 1 7 】

ここで「注文情報」とは、具体的にはサービス内容（焼き増し、ポストカード作成等）を指定する処理番号、写真を指定する画像番号、プリントサイズ、プリント枚数、プリント面質（光沢あり、光沢なし）、紙厚、写真処理の内容、トリミングの指定情報等のことである。

【 0 0 1 8 】

また、本発明によるプリントシステムにおいては、前記プリント注文内容が一つの前記画像データを複数枚プリント出力するものである場合、前記文字画像情報生成手段は、前記文字画像情報を前記プリント毎に設定可能な手段であり、

前記情報印字手段は、前記プリント毎に設定された文字画像情報により表される文字および／または簡易画像を、該各プリントの所定位置に印字する手段であることが好ましい。

【 0 0 1 9 】

ここで、「文字画像情報をプリント毎に設定する」とは、各プリントに対してそれぞれ異なる文字および／または簡易画像を表す文字画像情報を設定するものであってもよく、異なる文字および／または簡易画像を設定する際に、一つの文字画像情報を複数のプリントに対して設定するものであってもよい。

【 0 0 2 0 】

さらに、本発明によるプリントシステムにおいては、前記プリント注文内容が

複数の前記画像データをプリント出力するものである場合、前記文字画像情報生成手段は、全てのプリントについて一つの前記文字画像情報を設定可能な手段であり、

前記情報印字手段は、前記設定された文字画像情報により表される文字および／または簡易画像を、該各プリントの所定位置に印字する手段であることが好ましい。

【 0 0 2 1 】

なお、前記クライアントおよび前記ラボサーバを、予め定められた文字および／または簡易画像と、該文字および／または該簡易画像の種類を表すコード情報とを対応付けたテーブルを記憶した記憶手段を備えるものとするのが好ましい。この場合、所望とする文字および／または簡易画像はコード情報として入力され、入力されたコード情報がそのまま文字画像情報として生成されることとなる。これにより、所望とする簡易画像をプリントに印字したい場合でも、文字画像情報を画像データのタグ情報として付与できる。また、ビットマップデータを用意することなく注文情報にのみ文字画像情報を含ませることができる。

【 0 0 2 2 】

本発明によるプリント注文方法は、所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字および／または該簡易画像を表す文字画像情報を生成し、画像データをプリント出力する際に、前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字することを特徴とするものである。

【 0 0 2 3 】

なお、本発明によるプリント注文方法においては、前記文字画像情報が、前記画像データのプリント注文内容を表す注文情報に記述されてなることが好ましい。

【 0 0 2 4 】

また、前記プリント注文内容が一つの前記画像データを複数枚プリント出力するものである場合、前記文字画像情報が前記プリント毎に設定されてなることが好ましい。

【 0 0 2 5 】

さらに、前記プリント注文内容が複数の前記画像データをプリント出力するものである場合、全てのプリントについて一つの前記文字画像情報が設定されてなることが好ましい。

【 0 0 2 6 】

さらにまた、前記所望とする文字および／または前記簡易画像が、予め定められた文字および／または簡易画像の種類を表すコード情報として入力されることが好ましい。

【 0 0 2 7 】

本発明によるプリント注文装置は、本発明によるプリント注文方法に使用するプリント注文装置であって、

所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、該文字および／または該簡易画像を表す文字画像情報を生成する文字画像情報生成手段を備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 2 8 】

本発明によるプリント装置は、本発明によるプリント注文方法に使用するプリント装置であって、

画像データをプリント出力する際に、前記文字画像情報に基づいて、前記文字および／または前記簡易画像をプリントの所定位置に印字する情報印字手段を備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 2 9 】

なお、本発明によるプリント注文方法の各ステップを、コンピュータに実行させるためのプログラムとして、コンピュータ読取り可能な記録媒体に記録して提供してもよい。

【 0 0 3 0 】

【発明の効果】

本発明によれば、クライアントにおいては、所望とする文字および／または簡易画像の入力を受けて、この文字および／または簡易画像を表す文字画像情報が生成されてラボサーバに提供される。ラボサーバにおいては、画像データをプリ

ント出力するに際し、文字画像情報に基づいて文字および／または簡易画像をプリントの所定位置に印字する。これにより、写真に対する感想、メッセージ、ユーザの似顔絵等の所望とする文字および／または簡易画像が印字されたプリントを得ることができる。また、このようにプリントに所望とする文字および／または簡易画像を印字することにより、後からプリントを見た際にそのプリントに対する記憶を容易に甦らせることができるため、写真の整理を容易に行うことができる。

【 0 0 3 1 】

また、画像データのプリント注文内容を表す注文情報に文字画像情報を記述することにより、クライアントにおいては注文情報の作成時にプリント枚数などの入力に加えて文字および／または簡易画像の入力を行えばよい。また、文字画像情報の作成を効率よく行うことができる。一方、ラボサーバにおいては、単に注文情報を参照するのみで注文内容とともに文字画像情報の内容を知ることができるため、プリント出力の効率化を図ることができる。

【 0 0 3 2 】

さらに、一つの画像データを複数枚プリント出力する際に、プリント毎に文字画像情報を設定可能とすることにより、例えば集合写真に写っている人数分のプリントを行う際に、各プリントに各人の名前を印字することができる。また、このように各人の名前を印字することにより、プリントの配布を容易に行うことができる。

【 0 0 3 3 】

また、複数の画像データをプリント出力する際に、全てのプリントについて一つの文字画像情報を設定可能とすることにより、プリント毎に所望とする文字および／または簡易画像を入力する必要がなくなり、これにより、文字画像情報の生成を簡易に行うことができる。

【 0 0 3 4 】

さらに、所望とする文字および／または簡易画像を、予め定められた文字および／または簡易画像の種類を表すコード情報として入力することにより、所望とする文字および／または簡易画像の入力を容易に行うことができる。この場合、

クライアントおよびラボサーバには、文字および／または簡易画像と文字および／または簡易画像に対応するコード情報との関係を表すテーブルを記憶した記憶手段が設けられる。そして、クライアントにおいては、所望とする文字および／または簡易画像をテーブルから選択し、選択された文字および／または簡易画像に対応するコード情報を入力する。

【 0 0 3 5 】

文字画像情報生成手段は、コード情報の入力を受けこのコード情報をそのまま文字画像情報として生成する。ラボサーバは文字画像情報の提供を受けると、情報印字手段において、文字画像情報として表されたコード情報およびテーブルに基づいて、そのコード情報に対応する文字および／または簡易画像をプリントの所定位置に印字する。

【 0 0 3 6 】

また、クライアントとラボサーバとをネットワークを介して接続することにより、クライアントからラボサーバへの文字画像情報の提供を容易に行うことができ、これによりプリントの注文を効率よく行うことができる。

【 0 0 3 7 】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 3 8 】

図 1 は本発明の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図である。図 1 に示すプリントシステムは、ユーザ 1 とラボ 2 とがネットワーク 3 を介して接続されており、ユーザ 1 とラボ 2 との間においてデータやプリントのやりとりを行うものである。

【 0 0 3 9 】

ユーザ 1 はクライアントとしてのパソコン 1 0 を有しており、ネットワーク 3 を介してラボ 2 とのデータのやりとりを行うことが可能である。また、ユーザ 1 はこのパソコン 1 0 を利用して注文情報 C を作成し、この注文情報 C をラボ 2 に転送する。なお、注文情報 C には後述するようにプリントに印字したい文字を表す文字情報が含まれる。

【 0 0 4 0 】

ラボ 2 は、プリント出力を実施するシステムであり、ユーザ 1 が持ち込んだフィルムから画像を読み取って高解像度の画像データ S を得る読取手段 4 と、読み取った画像データ S を蓄積するデータベース 5 と、画像データ S の低解像度画像データ S L を生成する縮小手段 6 と、ユーザ 1 からの注文情報 C の受け付けおよびユーザ 1 への低解像度画像データ S L の転送を行う入出力手段 7 と、注文情報 C に基づいてプリントを行うとともに、注文情報 C に含まれる文字情報に基づいてプリントに文字を印字する出力手段 8 とを備える。なお、ユーザ 1 はラボ 2 に直接プリントを依頼するようにしてもよく、注文受付を専門に行う写真店を介してプリントを依頼してもよい。

【 0 0 4 1 】

次いで、本実施形態の動作について説明する。図 2 は本実施形態の動作を示すフローチャートである。まず、ユーザ 1 は写真店あるいはラボ 2 に直接ネガフィルムを持ち込んで、画像の登録を行う（ステップ S 1）。写真店に登録を行った場合は写真店からラボ 2 にフィルムが持ち込まれる。ラボ 2 においてはユーザ 1 あるいは写真店から預かったフィルムを読取手段 4 において読み取って、フィルムに記録された画像を表す高解像度の画像データ S を取得する（ステップ S 2）。高解像度画像データ S はデータベース 5 に蓄積される（ステップ S 3）。一方、縮小手段 6 において、高解像度画像データ S よりも解像度が低い低解像度画像データ S L が生成される（ステップ S 4）。そして、低解像度画像データ S L は入出力手段 7 を経てネットワーク 3 を介してユーザ 1 に転送される（ステップ S 5）。

【 0 0 4 2 】

ユーザ 1 は、転送された低解像度画像データ S L をパソコン 1 0 のモニタに表示し、画像を確認しながらプリントの注文を行う。まず、ユーザ 1 はプリントを行う画像を選択し（ステップ S 6）、プリントを行う画像データ S のファイル名、注文枚数、サイズ、光沢の有無等を記述した注文情報 C を作成する（ステップ S 7）。この際、ユーザ 1 はプリントに印字するための文字をパソコン 1 0 に入力し、これにより注文情報 C には入力された文字を表す文字情報が記述される（

ステップ S 8)。次いで、同一画像について複数のプリントを行うか否かが注文情報 C に基づいて判断され（ステップ S 9）、ステップ S 9 が肯定された場合には、全面像について同一文字を印字するか否かの判断をユーザ 1 に促す（ステップ S 1 0）。

【 0 0 4 3 】

ステップ S 1 0 が否定された場合は、ユーザ 1 に対して各プリントに対してそれぞれ異なる文字の入力を促し、これによりユーザ 1 が他の文字を入力して、別の文字情報が注文情報 C に記述される（ステップ S 1 1）。そして、プリント枚数分の文字情報が記述されたか否かが判断され（ステップ S 1 2）、ステップ S 1 2 が否定された場合は全てのプリント枚数分の文字情報が記述されてステップ S 1 2 が肯定されるまでステップ S 1 1、S 1 2 の処理を繰り返す。ステップ S 1 2 が肯定された場合は、他にプリントを行う画像があるか否かの判断をユーザ 1 に促し（ステップ S 1 3）、ステップ S 1 3 が肯定された場合はステップ S 6 に戻り、ステップ S 6 からステップ S 1 3 の処理を繰り返す。なお、ステップ S 9 が否定された場合およびステップ S 1 0 が肯定された場合もステップ S 1 3 に進む。そして、ステップ S 1 3 が否定された場合は、注文情報 C の作成が終了したものであるとして注文情報 C をラボ 2 に転送する（ステップ S 1 4）。

【 0 0 4 4 】

図 3 は注文情報 C に記述された注文内容を示す図である。図 3 に示すように、この注文情報 C には、プリントを依頼する画像のファイル名、プリント枚数、プリントサイズ、表面の光沢の有無の他、プリントに印字する文字を表す文字情報および文字の印字位置が注文内容として含まれる。ここで、図 3 の注文情報 C はプリント枚数が 5 枚であるため、5 つの文字情報が記述されている。なお、図 3 における文字情報は 3 つの「おはよう」という文字と、2 つの「こんにちは」という文字とからなる。また、図 3 においては印字位置は「裏面」と指定されているが、例えば注文内容において、プリントに白縁を付ける旨が記述されている場合には、文字の印字位置として白縁を指定することも可能である。さらに、各プリントに同一の文字を印字する場合には、注文情報 C の記述は図 4 に示すように、「おはよう× 5」とすればよい。なお、この場合、文字の入力は一度のみでよ

いこととなる。

【0045】

また、プリントを依頼する画像が5人の人物を含む集合写真であり、各人にプリントを渡したいような場合には、注文情報Cの記述としては図5に示すようにプリント枚数を5枚として、文字を各人の名前とすることもできる。

【0046】

ラボ2においては、注文情報Cを入出力手段7において受け付けて（ステップS15）、注文情報Cに記述された注文内容に基づいて、データベース5から高解像度の画像データSを読み出す。そして、出力手段8においてプリント画像の出力を行うとともに（ステップS16）、文字情報に基づいて文字をプリントの裏面に印字し（ステップS17）、処理を終了する。

【0047】

図6は本実施形態のプリントシステムにおいて得られたプリントの例を示す図である。図6（a）に示すようにプリントの裏面には例えば「おはよう」の文字が印字される。また、図6（b）に示すように白縁を付与したプリントの場合には、白縁部分に「こんにちは」の文字を印字することもできる。

【0048】

このように、本実施形態においては、プリントに所望とする文字を印字するようにしたため、後からプリントを見た際にそのプリントに対する記憶を容易に甦らせることができ、これにより写真の整理を容易に行うことができる。

【0049】

また、注文情報Cに文字情報を記述することにより、ユーザ1は注文情報Cの作成時にプリント枚数などの入力に加えて文字の入力を行えばよいため、文字情報の作成を効率よく行うことができる。一方、ラボ2においては、単に注文情報Cを参照するのみで注文内容とともに文字情報の内容を知ることができるため、プリント出力の効率化を図ることができる。

【0050】

さらに、一つの画像データSを複数枚プリントする際に、プリント毎に文字情報を設定することにより、例えば集合写真に写っている人数分のプリントを行う

場合、各プリントに各人の名前を印字することができ、これによりプリントの配布を容易に行うことができる。

【0051】

また、ユーザ1のパソコン10とラボ2とをネットワーク3を介して接続することにより、注文情報Cの転送を容易に行うことができ、これによりプリントの注文を効率よく行うことができる。

【0052】

なお、上記実施形態においては、注文情報Cに文字情報を記述しているが、これに限定されるものではなく、例えば文字情報をテキストデータとして注文情報Cとは別個にラボ2に転送してもよい。

【0053】

また、上記実施形態においては、高解像度の画像データSをラボ2において保管している場合について説明したが、ユーザ1が高解像度の画像データSを保管している場合には、注文情報Cとともにプリントする画像データSがラボ2に転送されることとなる。この際、文字情報は画像データSのタグ情報として画像データSに付与してもよく、テキストデータとして注文情報Cとは別個にラボ2に転送してもよい。

【0054】

さらに、上記実施形態においては、注文情報Cをネットワーク3を介してユーザ1からラボ2へ転送しているが、注文情報Cを記録媒体に記録してユーザ1からラボ2へ持ち込むようにしてもよい。

【0055】

また、上記実施形態においては、プリントの裏面あるいは白縁に文字を印字しているが、プリント部分に印字してもよい。

【0056】

さらに、上記実施形態においては、プリントにユーザ1が所望とする文字を印字しているが、簡易な模様、ユーザ1の似顔絵、あるいはユーザ1を識別するためのマーク等のモノクロあるいは輪郭のみからなる簡易な画像（以下簡易画像とする）をプリントに印字してもよい。この場合、ユーザ1は、パソコン10を利

用してプリントに印字する簡易画像を作成、あるいは簡易画像を保管したサーバからダウンロード等する。なお、簡易画像を表す画像情報は注文情報Cには記述することができない。したがって、簡易画像を表すビットマップデータを注文情報Cとは別個にラボ2に転送すればよい。この場合、注文情報Cにビットマップデータを特定する情報を記述する。なお、簡易画像および文字の双方をプリントに印字することも可能である。

【 0 0 5 7 】

図7は簡易画像が印字されたプリントの例を示す図である。図7(a)に示すように、プリントの裏面には例えばユーザの似顔絵が印字される。また、図7(b)に示すように白縁を付与したプリントの場合には、白縁部分に簡易な模様を印字することもできる。さらに、図7(c)に示すように、プリントの裏面にユーザの似顔絵および文字の双方を印字することもできる。

【 0 0 5 8 】

また、上記実施形態においては文字そのものを入力して注文情報Cに入力した文字を表す文字情報を記述しているが、文字そのものに代えて、文字の種類を表す数値やアルファベットあるいはこれらの羅列からなるコード情報を入力してもよい。この場合、ユーザ1およびラボ2には、図8に示すように、コード情報とそのコード情報に対応する文字との関係を表すテーブルを記憶したメモリ、ハードディスク等の記憶手段が設けられる。一方、簡易画像についても、簡易画像の種類を表すコード情報を入力するようにしてもよく、この場合、ユーザ1およびラボ2には、図9に示すように、コード情報とそのコード情報に対応する簡易画像との関係を表すテーブルを記憶した記憶手段が設けられる。

【 0 0 5 9 】

そして、ユーザ1が注文情報Cを作成する際には、所望とする文字および／または簡易画像をテーブルから選択し、選択された文字および／または簡易画像に対応するコード情報をパソコン10に入力し、これを文字情報および／または画像情報として図10に示すように注文情報Cに記述する。なお、図10には文字に対応するコード情報のみが文字情報として記述されている。

【 0 0 6 0 】

一方、ラボ 2 においては、注文情報 C に記述されたコード情報とラボ 2 に保持されているテーブルとに基づいて、そのコード情報に対応する文字および／または簡易画像をプリントの所定位置に印字する。

【 0 0 6 1 】

このように、コード情報により文字および／または簡易画像を注文情報 C に記述することにより、ユーザ 1 が所望とする文字および／または簡易画像の入力を容易に行うことができる。とくに、簡易画像をコード情報として表すことにより、注文情報 C に簡易画像を表す情報を含ませることができるのみならず、画像データのタグ情報としても含ませることができるため、簡易画像をビットマップデータとする場合と比較して、簡易画像を表す画像情報のラボ 2 への提供を容易に行うことができる。

【 0 0 6 2 】

また、複数の画像データ S をプリント出力する場合には、図 1 1 に示すように全てのプリントについて一つの文字情報を設定するように注文情報 C を記述することが好ましい。これにより、プリント毎に所望とする文字を入力する必要がなくなつて、文字情報の生成を簡易に行うことができる。

【 0 0 6 3 】

また、

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態によるプリントシステムの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

本実施形態の処理を示すフローチャート

【図 3】

注文情報に記述された注文内容を示す図（その 1）

【図 4】

注文情報に記述された注文内容を示す図（その 2）

【図 5】

注文情報に記述された注文内容を示す図（その 3）

【図 6】

本実施形態において得られるプリントの例を示す図（その 1）

【図 7】

本実施形態において得られるプリントの例を示す図（その 2）

【図 8】

テーブルの例を示す図（その 1）

【図 9】

テーブルの例を示す図（その 2）

【図 1 0】

注文情報に記述された注文内容を示す図（その 4）

【図 1 1】

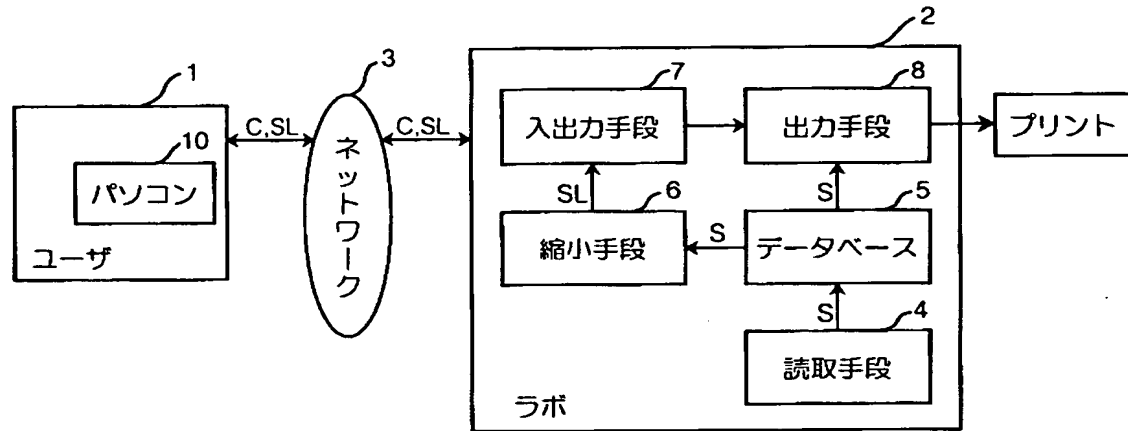
注文情報に記述された注文内容を示す図（その 5）

【符号の説明】

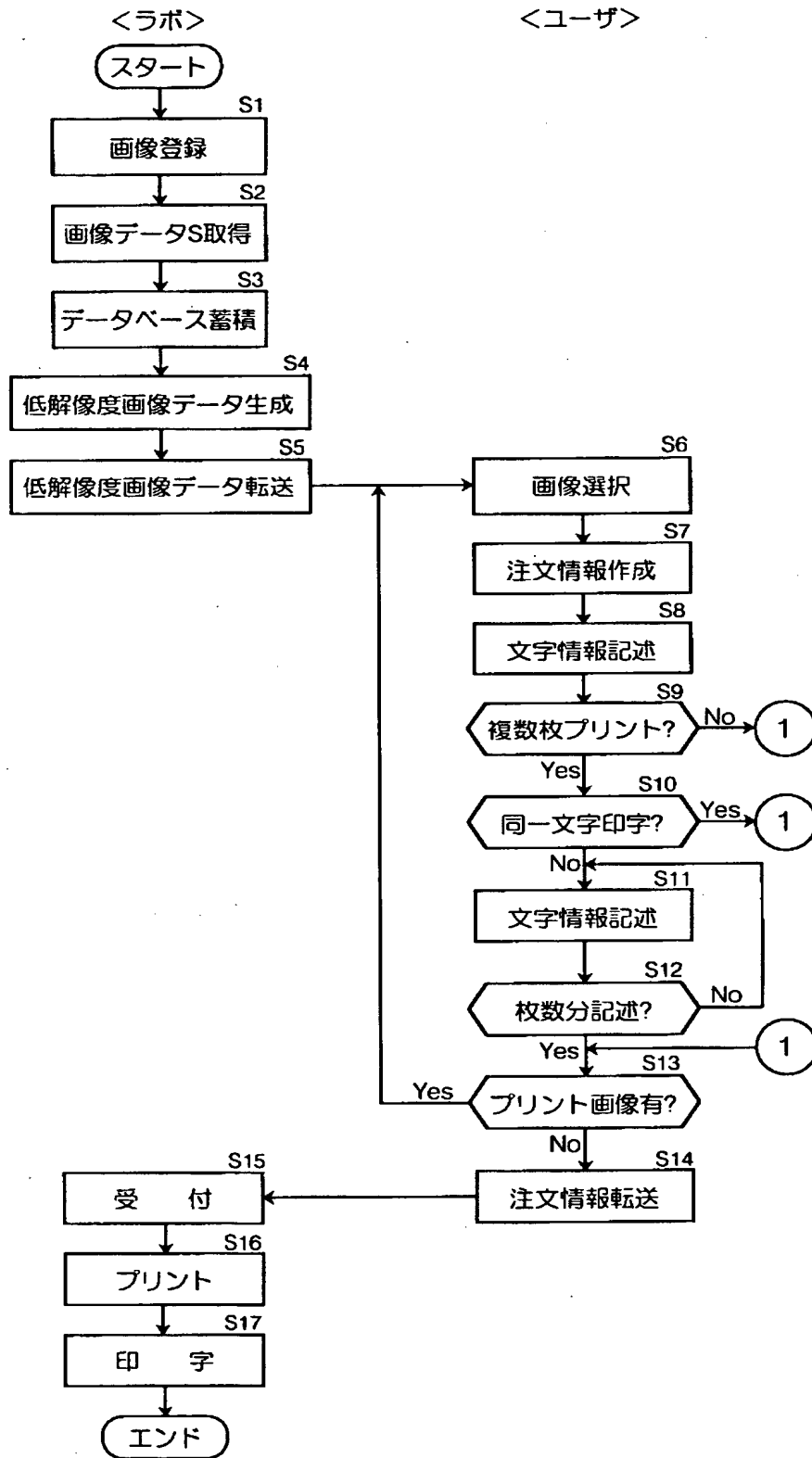
- 1 ユーザ
- 2 ラボ
- 3 ネットワーク
- 4 読取手段
- 5 データベース
- 6 縮小手段
- 7 入出力手段
- 8 出力手段
- 1 0 パソコン

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

注文内容	
ファイル名	: File001.jpg
プリント枚数	: 5
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
文字情報	: <おはよう>
	<おはよう>
	<おはよう>
	<こんにちは>
	<こんにちは>
印字位置	: 裏面
	.
	.
	.

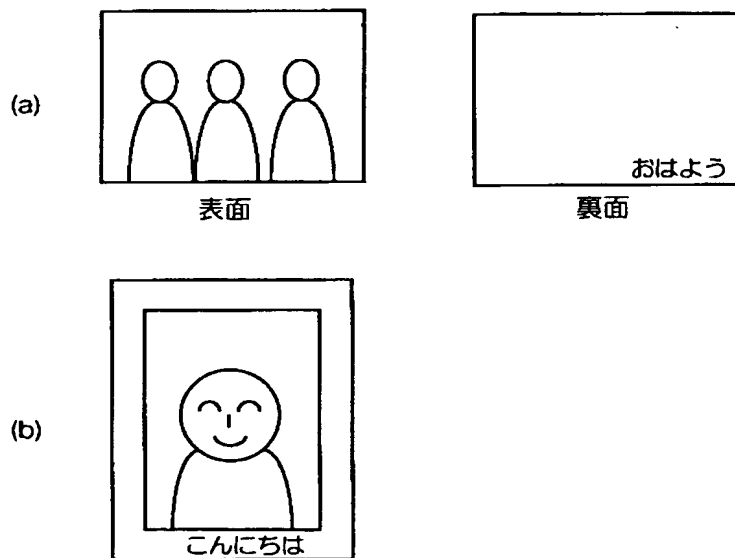
【図 4】

注文内容	
ファイル名	: File001.jpg
プリント枚数	: 5
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
文字情報	: <おはよう>×5
印字位置	: 裏面

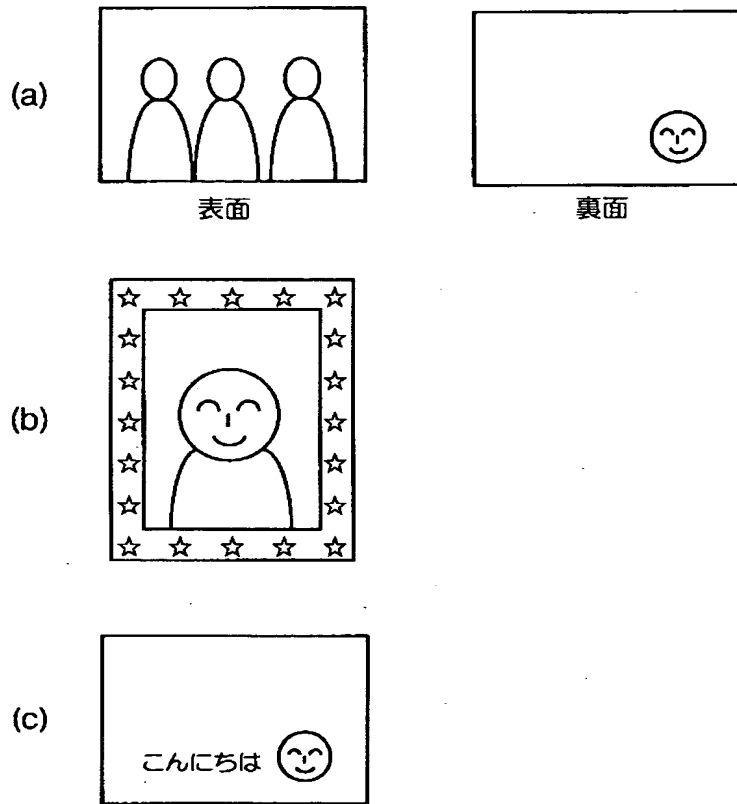
【図 5】

注文内容	
ファイル名	: File001.jpg
プリント枚数	: 5
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
文字情報	: <Aさん>
	<Bさん>
	<Dさん>
	<Eさん>
	<Fさん>
印字位置	: 裏面
	.
	.
	.

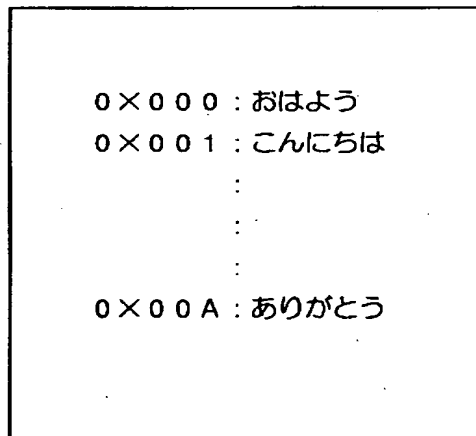
【図 6】



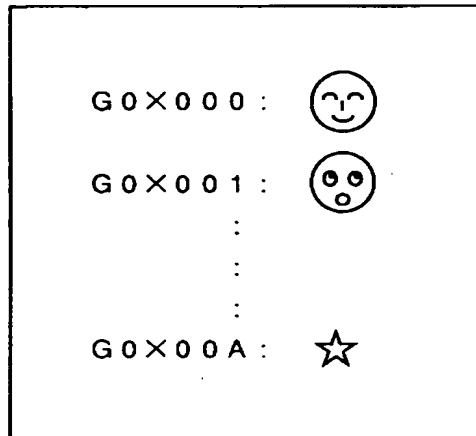
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

注文内容	
ファイル名	: File001.jpg
プリント枚数	: 5
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
文字情報	: 0X00A
または画像情報	
印字位置	: 裏面

【図 11】

注文内容	
ファイル名	: File001.jpg
	File002.jpg
	File004.jpg
	File007.jpg
	File008.jpg
プリント枚数	: 1
プリントサイズ	: L
光沢	: 有
文字情報	: <こんにちは>
印字位置	: 裏面

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 クライアントからの注文により画像データのプリントを行うプリントシステムにおいて、所望とする文字および／または簡易画像をプリントに印字する。

【解決手段】 ユーザ 1 は画像データ S をプリント注文するに際し、注文内容を注文情報 C に記述してこれをラボ 2 に転送する。この際、プリントに印字する文字および／または簡易画像を文字画像情報として注文情報 C に記述する。ラボ 2 では、注文情報 C に基づいて画像データ S のプリントを行うとともに、注文情報 C に記述されている文字画像情報に基づいて、プリントの裏面、白縁などに文字および／または簡易画像を印字する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-383857
受付番号	50001629825
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年12月21日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年12月18日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼210番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 B E N E X S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 B E N E X S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社